

お客様
保管用

大和ハウス VSF洗面化粧台 フロートタイプ

取扱説明書

◆このたびは、お買い求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

◆この取扱説明書は、大切に保管し、必要なときにお読み下さい。

◆シングルレバー式洗髪シャワー 取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。

◆転居される場合、次に入居される方にこの取扱説明書をお渡しください。

◆水栓金具・樹脂製ミラーキャビネット・木製3面鏡キャビネット/照明パネルに関する内容は、
専用の説明書をご覧ください。

施工業者さまへ

取扱説明書とシングルレバー式洗髪シャワー取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。

大和ハウス工業 オリジナル商品

商品名 洗面化粧台 (VSFタイプ)
Q-P-VSF□-12#L(-S)
サプライヤー サダシゲ特殊合板(株)
放散等級 F☆☆☆☆
ロットNo. (住宅部品表示ガイドラインによる)
S*****

内装仕上部分 下地部分

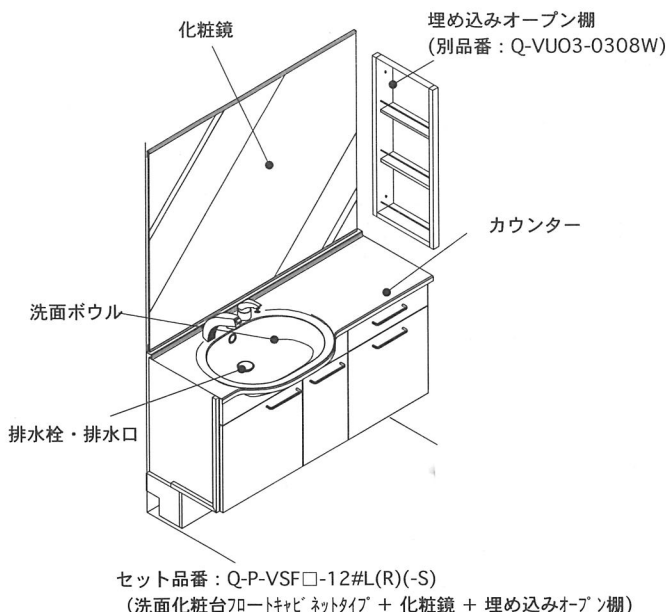
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
合板	F☆☆☆☆	合板	F☆☆☆☆
MDF	F☆☆☆☆	MDF	F☆☆☆☆
PB	F☆☆☆☆	PB	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆	接着剤	F☆☆☆☆

お問い合わせ先
(0847) 45-6090
サダシゲ特殊合板(株)

VOC放散性能 4VOC基準適合(木質建材)
表示ルール 住宅部品VOC表示ガイドラインによる
※4VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・ステレンを示します

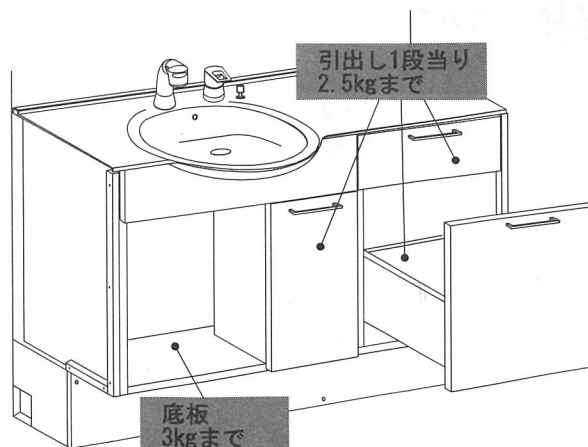
許容重量	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
お手入れ方法	3 ~ 4

- 洗面ボウル・カウンターのお手入れ方法
- 扉・収納部のお手入れ方法
- 排水栓・排水口のお手入れ方法
- 排水栓(ヘアキャッチャー)のお手入れ方法
- 引出しの取り外す/取り付けの方法
- 引出しの調整方法
- 扉の調整方法



許容重量

許容重量を超えないよう使用してください。
過剰に収納すると変形・破損しケガの原因となります。



※許容重量は平均的にものをのせた場合の値です。

⚠ 安全上のご注意 (必ずお守りください。)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この説明書では製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、つぎのような表示をしています。
- 組み込まれている機器や付属品については、それぞれの取扱説明書をご覧のうえ、ご使用ください。

表示マークについて



してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行して頂く「強制」の内容です。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

【 鏡 】



禁止

鏡に無理な力をかけない

鏡が破損し、ケガの原因となります



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び、
物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【 洗面ボウル・カウンター・キャビネット 】



禁止

洗面ボウル・カウンターや引出し、扉にぶら下がったり乗ったりしない

洗面ボウル・カウンターや引出し、扉が外れて、ケガをするおそれがあります

ヒビが入った場合はそのまま使用しない

ケガをするおそれがあります。また、ヒビが全体に広がり大きな破損に至る場合があります

洗面ボウル・カウンターに、かたい物を落とさない

洗面ボウル・カウンターが破損してケガをしたり、水漏れのため家財を汚す原因となります

扉などを開け閉めするときは、丁番付近に手をいれない

丁番に指が挟まり、ケガをするおそれがあります

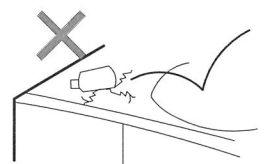


必ず実行

扉が傾いたりガタついている場合は、扉の調節や付けなおしをする

扉が外れ、落下によりケガをするおそれがあります

定期的にねじのゆるみ、キャビネットに水漏れがないか点検する



化粧鏡の収納物

取り出し時には注意！

【 配管まわり 】



禁止

キャビネット内の排水金具（トラップを含む）・給湯水管・
接続管に収納物などで無理な力を加えない

水漏れの原因となります

排水金具のリリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしない
収納物を接触させない

リリースワイヤーが切断、破損して、排水栓が開閉できなくなる原因となります

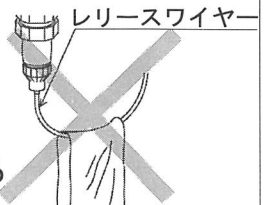
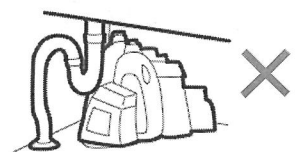


必ず実行

排水口付属品のヘアキャッチャーは、必ず取り付けて使用する

排水パイプが目詰まりを起こし水漏れの原因となります

パッキン・ワッシャー・配水管にキズや変形が見られた場合は必ず交換する
排水金具は摩耗劣化部品です。使用を中止し工事店やメーカーに連絡する



【 鏡 】



禁止

鏡や本体に市販のフック吸盤などを取り付けない

本体の破損や取付け物の落下により、ケガをするおそれがあります

破損したまま使用しない

衝撃・温度の急変などで、割れが全体に広がり大きな破損に至る場合があります



必ず実行

鏡面に水滴・湿気・洗剤・化粧品等がかかったらすぐに拭きとる

黒く腐食（しけ）が発生する原因となります

⚠ 使用上のご注意

使用するときは、以下のことに気を付けてください。

破損などを起こさないためには・・

【 鏡 】

- ◆ 鏡に冷水・熱湯をかけない

鏡の破損の原因となります

- ◆ キャビネットと化粧鏡の接合部に水をかけない

水漏れの原因となります

【 キャビネット 】

- ◆ 冷たい洗面ボウルに、急に熱湯を注がない

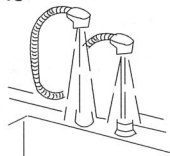
- ◆ 洗面ボウルに熱湯を注がない

急激な温度変化により洗面ボウルの割れ、漏水や拡大損害発生のおそれがあります



- ◆ シャワーホースを無理に引っばらない

- ◆ 操作レバーはゆっくり操作する無理な力は加えない

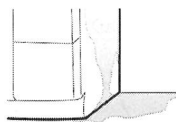


- ◆ 吐水部の引出口やレバーハンドル周辺に直接水をかけない

- ◆ 収納物は十分に水気を拭いて収納する

- ◆ キャビネットに水をこぼさない
ぬれたらすぐに拭き取る

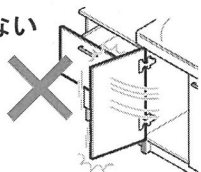
表面だけでなく、水が溜りやすい上下端部も拭き取る。木質でできていますので、水を含んで膨れたり、表面材の剥がれの原因となります



- ◆ 扉を大きく開けたり、手荒く開閉しない

- ◆ 隣合う扉は同時に開けない

扉と扉がぶつかり傷や破損の原因となります
引出しはレールの破損の原因となります



- ◆ 引出しに足を乗せない

レールの破損・転倒により、ケガをするおそれがあります

- ◆ 取っ手にぶら下らない

変形・変色などを起こさないためには・・

【 キャビネット 】

- ◆ ストープなどを近づけない

- ◆ ヘアドライヤーの熱風を直接当てない

- ◆ 直射日光やスポット照明、殺菌灯などを直接当てない

- ◆ 金属製品を放置しない

ヘアピン・かみそりの刃など。さびがとれなくなります

- ◆ カウンター面を長時間ぬれたままにしない

ぬれたビニールシートなどを長時間放置しない

- ◆ 洗面ボウル・カウンターの上に
火のついたタバコを置かない



- ◆ 除光液やクレンジング剤などの化粧品、整髪料、
芳香剤など付着したまま放置しない

- ◆ カウンター面に使用中のヘアアイロンをそのまま
置かない

- ◆ ヘアアイロン・ヘアドライヤーは、熱いまま収納しない

- ◆ 重い収納物は、分散して入れる

- ◆ 取っ手をタオル掛けとして使用しない
取っ手が腐食したり、扉に反りや変形の原因となります

【 薬品・洗剤・お手入れ道具 】

- ◆ 以下の洗剤・道具は使用しない

- ・ナイロンたわし・金属たわし・研磨剤入りスポンジ
- ・メラミンスポンジ
- ・溶剤（シンナー・ベンジン・除光液など）
- ・塩素系・酸性・漂白剤



- ◆ 排水口にはパイプ洗浄等の薬品を流したまま
長時間放置しない

- ◆ 塩素系の薬品・洗剤類の保管には注意する

塩素ガスが発生すると、丁番・レールのさびや動作不良の原因になります。保管する場合はキャップを確実に閉めてください。キャビネットや容器に付着した場合は、すぐにふき取ってください

お手入れ方法

【 洗面ボウル・カウンター 】

○ 使える洗剤・道具



台所用洗剤(中性)



柔らかいスポンジ



やわらかい布

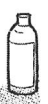
✕ 使えない洗剤・道具



クリーム
クレンザー
(粒子細)



ぬめり取り剤



酸性・アルカリ性・
塩素系洗剤・
漂白剤



研磨剤入り
スポンジ
メラミンスポンジ



金属たわし

日常

洗面ボウル…

石けんやハンドソープ、歯磨き粉を使ったあとは、水で洗い流し、飛び散りを残さないようにしましょう。

カウンター…

やわらかい乾いた布で水滴をとりましょう。

ガンコな汚れ

洗面ボウル…

スポンジに台所用中性洗剤をつけて円を描くように動かして洗い、水洗いして乾拭きしましょう。

カウンター…

やわらかい布で水拭きをしましょう。

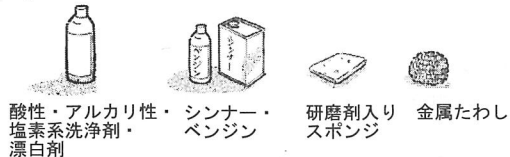
お手入れ方法

【扉・収納部】

○ 使える洗剤・道具



✕ 使えない洗剤・道具



気になったら

やわらかい布に住宅用中性洗剤をつけて汚れを拭き取りましょう。
洗剤成分が残らないよう水拭き後、乾拭きしましょう。



内部が湿っているときは、しばらく扉を開け乾かしてください。

※強くこすると表面にキズがつくおそれがあります。

【排水栓・排水口】

○ 使える洗剤・道具



✕ 使えない洗剤・道具



週1回を目安に

排水口…

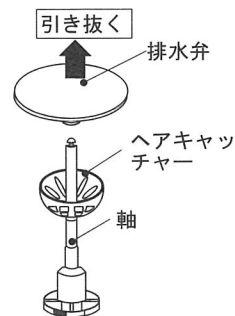
歯ブラシ等でこすり汚れを落としましょう。

排水栓…

ゴミを取り除き、ヌメリ汚れは浴室用中性洗剤をつけた歯ブラシ等でこすり汚れを落としましょう。

排水弁(ヘアキャッチャー)のお手入れ方法

〈取り外す〉
軸を持ち、弁を回しながら引き抜く
〈取り付け〉
“カチッ”と音がするまで弁を軸に差し込む

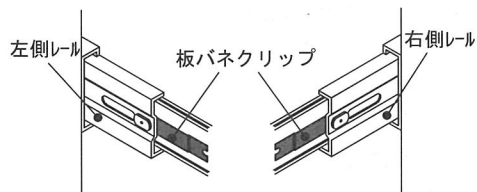


キャビネットの調整

引出しを取り外す / 取り付ける

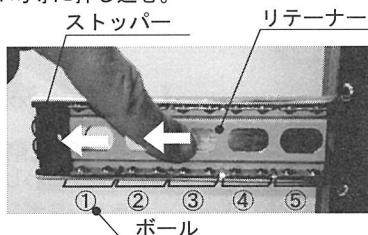
〈取り外す方法〉

1. 両側の板バネクリップを押す。
2. そのまま真っすぐに手前に引き出す。



〈取り付け方法〉

1. リテーナーをストッパーにあてる。
2. 左右の引出し側レールを②のボールまで差込む。
3. 均等に押し込む。



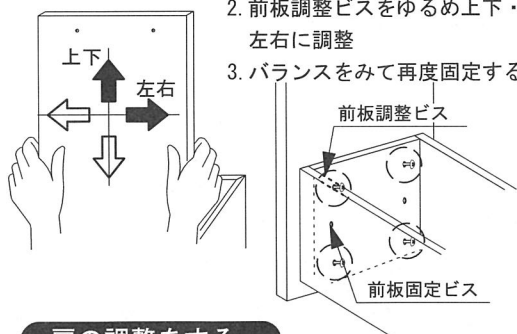
！注意

- レールがずれた位置で取付けた場合、破損、動作不良の原因となる恐れがあります。
- 引出し取付後は、数回開閉させ、ガタつきや異音がしないかなど確認してください。

引出しの調整をする

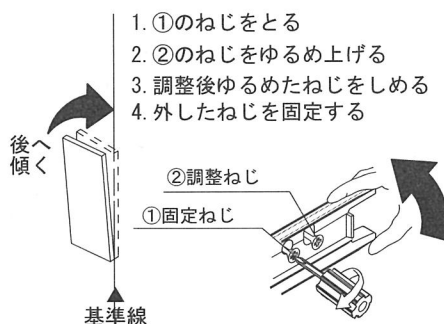
〈上下・左右の調整〉

1. 前板固定ビスを外す
2. 前板調整ビスをゆるめ上下・左右に調整
3. バランスをみて再度固定する



〈前後に傾いた場合〉

1. ①のねじをとる
2. ②のねじをゆるめ上げる
3. 調整後ゆるめたねじをしめる
4. 外したねじを固定する

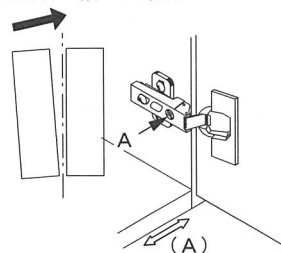


1. ①のねじをとる
2. ②のねじをゆるめ下げる
3. 調整後ゆるめたねじをしめる
4. 外したねじを固定する



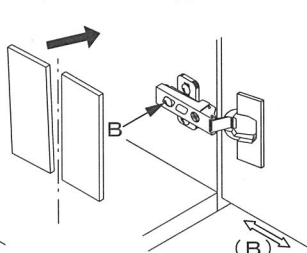
扉の調整をする

〈左右に傾いた場合〉



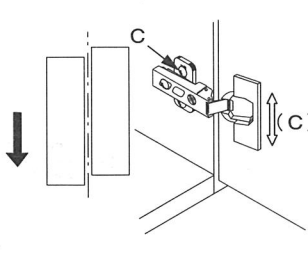
Aを回すと(A)の方向に動く

〈前後に傾いた場合〉



Bをゆるめて扉を前後に移動させ、しっかり締める

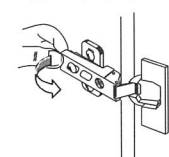
〈下がった場合〉



Cをゆるめて扉を上下に移動させ、しっかり締める

扉の丁番の取り付け・取り外しをする

〈扉の取り外し〉



本体後方のロックボタンを押して、矢印の方向へ持ち上げる

〈扉の取り付け〉



本体の爪を座金の先端に差込み、上から押さえる

！注意

取り付け後、必ず2~3回開閉し、丁番が確実に固定されていることを確認してください。